令和元年度神奈川県リハビリテーション協議会 書面協議 協議結果

1 報告 (1)地域リハビリテーションに関する県の取組について

要門職等の務定に対して、関東全体にパランスよく。務意されていますか?	意見の概要	県の考え方
管料1 にある研修会は以前からある内容ですが、保護者数の経験や成修後の活動への 有効性などの検証不十分であり、研修を参加したことの放果物能が不明です。世の大きないた。 がおれてわる「地域内はかアンステム」への取り組みや、地域とリケーション活動支援 事業に対する馬枠を地域のリヘ連絡会や・中地域とかなどと見か考える「地域リハビリケーション活動支援 事業に対する馬枠を地域のリヘ連絡会や・中地域とかまるととしていての内容になると 事業に対する馬枠を地域のリヘ連線会や・中地域とであるととなる。 事業に対する馬枠を地域のリスピリケーションがあるととしていては、ボビュン・ラーナの視点もより重視するな としまうか。現場で心臓風の確取や現場が希望するシステム等について開き取りをする機会 会はありますか? 協議会と場か考えるとありますが、部会が設置されたことはあるので しょうか。 現場で心臓風の確取や現場が希望するシステム等について開き取りをする機会 会はありますか? 協議会と感かなので、地域が抱える課題に具体的に取 り扱むことがさるとよいと思います。 地域ケア会議への専門職派信に、資料会生士などオークルフレイルに関する研修を入れてい たが多子会議への専門職派信に、資料会生士などオークルフレイルに関する研修を入れてい を検討していたできるとよいと思います。 地域ケア会議での、オーラルフレイル等ロ解リアビリテーションに関する研修を入れてい たが多子の大きないのでは、対しているため活用していただきたい。 が選予防液手が関連体や現場が構造しているため活用していただきたい。 地域には歯科体療連携等が25倍所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科体療連携等が25倍所設置されているため活用していただきたい。 が能学は関連体性によるものに変更してはどうか。 介護予防炎事者に対するリハビリテーションの内容に関する研修に重要と考えられる。 を検討していたります。 参照を発展では、日際機能の上のテーマで、オーラルフレイルに関するよう、全後を表している を検討していたがら、体では、日際機能の上のテーマで、オーラルフレイルに関する ・推蔵して一番が廃止性が表しているため、のが修等は集団で高空内に関するよう。 を検討していたが、のため、研修等は集団で高空内に集まって行うのではなく、テレビ会 統予的技事者が関することが上に育するよう、全後を取ります。 を変したまれた。と述れ大助にに向けた原の基本力がに対いでも、一つ、機能力は全域の対域大力に対してよります。 を取り入れていきます。 全様の主が放すると関係と関するより、一つ、と思います。 全様の主が対すると関係と対してより、前途見を踏まえ、研修等 と表別の意味が関係と関係と関係と関するとといるといいます。 「お手が技事者が関するとしていると表のよのと様を持つ、地域における体で ので、のの地域を持つ、これでは関係と関係と関係といては、対域を対してよりたいと思います。 を取り入れていきます。 全様の関係と対してよりたいと思います。 全様の主が技事を構造し、関係方は全体の関係と関の、大きに対しているとす。 を取り入れていきます。 を取り入れていきます。 を取り入れていきます。 全様のといたがとます。 を取り入れていきます。 を取り入れていきます。 を取り入れていきます。 を取り入れていきます。 を取り入れていきます。 を関係とは、対域はより、のでは、大きないないないないないないないないないないないないないないないないないないない		
有効性などの検証不上分であり、研修を参加したことへの効果判定が不明です。他の中の 参業に対する県内会地域のリハ連絡会や市両村との連携や実践についての内容になると 事業の自分性が関連になると思います。本部鑑金とと思えまる。1地域リハビリテーション活動と 事業の自分性が関連になると思います。本部鑑金とと思えまる。1地域リハビリテーションに対した。 必要に応じ部会を設けての件数実績作りにとどまることなく、現場レベルの内容に なることを希望します。 必要に応じ部会を設けることができるとありますが、部金が設置されたことはあるので しょうか? 規想での連選の地球や場場が希望オランメラム等について関する課題に表している。 が成力で含まるとよいと思います。 地域ケア会議への専用領流に、歯科衛生士などオーラルフレイルに関する関係名の派法 を検討していただきたい。 介護予防の権害をはオーラルフレイル等は関する研修としていただきたい。 が選りしていただきたい。 介護予防の事態を表しまいと思います。 地域には確督医療連携室が25億所設置されているため活用していただきたい。 が関コロナ感染拡大のため、研修等は集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ ただきたい。 が選や電子媒体によるものに変更してはどうか。 新型コロナ感染拡大のため、研修等は集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ 流巻で電子媒体によるものに変更してはどうか。 が選予防従生まるとから支援者と支援される側以外に、その地域に作す場別を含めるといと表できれる。 が選予防従生者に対するリハビリテーションの内容に関する研修は重要と考えられる。 が選予防従生者に対するリハビリテーションの内容に関する研修は重要と考えられる。 が選予防従生者に対するリハビリテーションの内容に関する所修は重要と考えられる。 が選予防従生者に対するリハビリテーションの内容に関するに変更と考えられる。 が選予防ですると表で、運動部の機能向上などのリハビリテーションに関する内 を取り入れていきます。 今後も介護予防でするとがには関するままなと理解しまい。 うます。この起点が地域を指ケアシステムの課と使うするよう、各種種の管験の神能の対したします。 が関サウイルス感染性の対大防止に向けた単の基本が対しまいても不定する実施でいます。 が関サウィルス感染性の対大防止に向けた単の基本が対しまいてもまります。 が関サウィルス感染性の対大防止に向けた単の基本が対しまいでもいと思います。 が関サウィルス感染性の対大防止に向けた単の基本が対していても、対しないといます。 が関すウィルス感染性の対大防止に向けた単の表を特に対していても、の実施と関いいたします。 が関サウィルス感染性の対大防止に向けた単の基本が対していても、の実施との対したいとます。 を取り入れていきます。 を取り入れていきます。 を取り入れていきます。 を取り入れているといます。 を表が重要がといまります。神奈川とではの実体を使してよりります。 神奈以のたださます。 を取ります。中が対していくためには関係を関するの人材でなのため、 体性を推進しながら、在生に使うが発していくためには関係を対していります。 神奈り、といて、これを対していていくためには関係との、地域に対しておいます。 神奈以のを持ちます。 神奈以のを持ちます。 神奈以のを持ちます。 神奈はなど、といては、対しているといます。 ・一はなど、といます。 ・一はなど、といます。 ・一はなど、といます。 ・一はなど、といます。 ・一はなど、といます。 ・一はなど、といます。 ・一はなど、といます。 ・一はなど、といます。 ・一はなど、といます。 ・一はなどを発してよります。 ・一はなど、といます。 ・一はなど		
添れである「地域包括ケアシステム」への取り組みや「地域リハビリテーション活動支援。 事業の有効性が明常になると思います。本権 事業の者の特性が明常になると思います。本態議会と県が考える「地域リハビリテーション が研修や相談常口を設けることができるとあります。本態議会と県が考える「地域リハビリテーション が研修や相談常口を設けることができるとありますが、部会が設置されたことはあるので とようか? 現場での課題を設けることができるとありますが、部会が設置されたことはあるので とようか? 現場での課題を破た受援が希望するシスン条等について開き取ります。で表します。 必要に応じ那会を設けることができるとありますが、部会が設置されたことはあるので となうとかできるとよいと思います。 地域ケア会議への専門職派遣に、首科案作士などオーラルフレイルに関する関係者の派遣 を給到していただきたい。 地域ケア会議への専門職派遣に、首科案作士などオーラルフレイルに関する関係者の派遣 を給到していただきをよい。大き方動の研修にもオーラルフレイルを同盟リハビリテーションに関する研修を入れていただきまが、この表し、対して大きさい。 地域には関科医療連携率が25箇所設置とれているため活用していただきたい。 地域には関科医療連携率が25箇所設置とれているため活用していただきたい。 地域には関科医療連携率が25箇所設置とれているため活用していただきたい。 地域には関科医療連携率が25箇所設置とれているため活用していただきたい。 地域には関科医療連携率が25箇所設置とれているため活用していただきたい。 地域には関科医療連携率が25箇所設置とれているため活用していただきたい。 地域には関科医療連携率が25箇所設置とれているため活用していただきたい。 地域には関科医療連携等を推進して必要な推進するための研修や情報提供等を実施してかます。 にかいたします。この拠点が地域也括ケアシステムの深化に変更するよう、各職権の普接を実施しています。 にかいたします。この拠点が地域と解析しては、対象の研修を関係を関係と関係と、対象を取り入れていきます。 の表したが一般を実施して対象の表に関係が表しまして対り、の表に関係を変し、 の表にかいて、自然の発達に関がでは、関係が方と分解しております。 の表にかいて、自然の発達に関係を発達しております。 の表にかいて、自然の表に対しております。 の表にかいて、自然の発達に関係を発達しておりまいと思いまいます。 の表とかいで、自然の表に対しては、関係が方と対象は、市内科学との連携を推進しままりたいと思います。 の機能連携により地域リハビリテーションが推進されるよう、今後も事業を展開しております。 の意とと同様にとなら、在で医療・指達しております。 の意とと相様に対象とないで、関係が表しております。 の意とを構像にしながら、在で医療、・一部の表に関でいて、とい、対象を関係しております。 の意とを構像としなら、在で医療、・一部の表に関値では、関係のため、 に関するとない、関係が表に対しております。 の意とを構像としなら、在で医療、・一部の表に対しておりまが表に対しております。 の意とを構像としなら、在で医療、・一部の表に対しておりまいと思います。 の意とを持定としなら、在で医療、・一部の表に対しておりまいと思います。 の意とと呼ば、といいでは、またが、といいいでは、またが、といいでは、またが、といいでは、またが、といいでは、またが、といいでは、またが、といいいでは、またが、といいいでは、またが、といいいでは、またが、といいいでは、またが、といいいないでは、またが、といいいない、といいないないないないでは、またが、といいいないないないないないないないないないないないないないないないないないな		
事業」に対する県内各地域のリノ連絡会や市町村との連携や実践についての内容になると 素製の有効性が明確になるとと思います。本協議会と思います。本協議会とは対いスピッショク」が研修や相談窓口を設けての件数実践作りにとどまることなく、 地場レベルの内容に なることをから、 取場レベルの内容に しまうか? 財場での課題が収集が予望するとありますが、部会が設置されたことはあるので しょうか? 財場での課題が収集が予望するとありますが、部会が設置されたことはあるので しょうか? 財場での課題が収集が収集が希望するシステム等について関き取りをする被 会社ありますか? 財産と参展債年度は支援会なので、地域が抱える課題に具体的に取 り組むことができるとよいと思います。 地域なケス会議への専門職派遣に、 債格衛生士などオーラルフレイルに関する関係者の派遣 を検討していただきたい。 地域には歯科医療連携の専門では、債格衛生士などオーラルフレイルに関する関係者の派遣 を検討していただきたい。 地域には歯科医療連携の必要の連携指針を改定するために協議会とは別に検討部会が設置されたことがあり ます。 御意見については今後の協議会運営の参考とさせていただきます。 ・ 神域の大会議での、オーラルフレイルで関かの財言は重要ですので、専門職派遣事業で今後 ・ 治練能して崇拝衛生士を派遣していきます。 ・ 神域には歯科医療連携機なが35億所設置されているため活用していただきたい。 ・ 地域には歯科医療連携を変がなら、研修等は集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ会議で主体によるものに変更してはどうか。 ・ が登ります。この拠点が地域包括ケアシステムの深化に管するよう、各職種の皆様の御館のを ・ 対理が取けテレビ会影をと書が出て設め、連携を持ていては、関係する内容等を検査し、関値が起を検討してまいりたいと思います。 つきを取り入まします。 お職と対しております。 の機会がも検索とは関すると残される側以外に その地域に住む果民を参加のにます。 会を取り入れていきます。 できなります。 の機会が手でが、 は関値が表を検討してまいりたいと思います。 つきを取り入れていきます。 できなのを発生者の様を行るよります。 は関係が定との地域に対しております。 は関係が定との地域に対しております。 は関係が定とがでは、財域に対しております。 は関係が定とがでは、財域に対しております。 は関係が定との地域に対しております。 は関係が定との地域に対しております。 は関係が定とするよりに検討でするよります。 は関係が定と対しております。 は関係が定とするよりに検討でするよります。 は関係が定とするよります。 は関係が定と対しております。 は関係が定と対しております。 は関係が定と対しております。 は関係が定とするよりに対しております。 は関係が定とするよります。 は関係が定するよります。 は関係が定するよります。 は関係が定するよります。 は関係が定するよります。 は関係が定するとなどのは、対しても関係が定するとなどの関係を行っては、関係が定するとなどのは、対しても関係が定すると対して対します。 は関係が定するといては、関係が定するとなどの対して対して対したも対して対します。 は関係が定するとなどのは、対して対しまするとなどのは、対しまするとなどのは、対して対しまするとなどのは、対しまするとなどのは、対しては、対しなどのでは、とないとなどのでは、対しなどのでは、対しなどのでは、対しなどのでは、対しなどのでは、対しなどのでは、対しなどのでは、対しなどのでは、対しなどのでは、対しなどのでは、対しなどのでは、対しなどのでは、対しなどのでは、対しなどのでは、は、対しなどのでは、は、などのでは、は、などのでは、は、などのでは、などのでは、などのでは、などのでは、などのでは、などのでは、などのでは、などのでは、などの		
事業の有効性が明確になると思います。本協議会と県が考える「地域リハビリテーション が研修や相談窓口を指数での作数来鎮作りにとどまることなく、現場レベルの内容になることを希望します。 必要に比じ窓会を設けることができるとありますが、窓会が設置されたことはあるのでしょうか? 現場での課題の聴取や現場が希望するシステム等について開き取りをする機会しまりますが、窓会は多職権が集まる機会なので、地域が抱える課題に具体的に取り起かことができるとよりと思います。 地域とア会議への専門職派産に、歯科衛生士などオーラルフレイルに関する関係者の派遣を検討していただきたり。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 特別でなど、近半などが、一クシーフレイルに関する研修を入れていただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 特別でなど、フレビ会議を電子媒体によるものに変更してはどうか。 が書下防徒事者が最終したがきないが、受ける主な、ので、自体を発している在では科医療連携側をで、と、対している。 一般を発している在では科医療連携側をでは、口腔機能向上のテーマで、オーラルフレイルに関するよ習を大きとしてきまっ。 一定では、上に歯科療生士を派遣しているたでは科医療連携側点では、地域における在で自科を療を指達している方では、地域における在で自科を廃連機を発進されるより、発験種が関いたします。 一般を発したがきる機能を発生しているたでは、関係を含む、関係が表し、関係方法を検討してはいりたいと記します。 一会後も介護予防使事者が表現を解していただきます。 一般を発していただきます。 一般を発生を対していると構を関することが主体と理解しまります。 場施連携により地域リハビリテーションが推進されるよう。今後も予選を構造し、対していると構築・レーに対して対しないます。 本稿機連携により地域リハビリテーションが推進されるよう。今後も介護予防を音で、運動器の機能由上などのリハビリテーションに関する内容を発きずる、開催方法を検討してはいりたいといます。 本稿機連携により地域リハビリテーションが推進されるよう。今後も介護予防を音で、運動器の機能向上などのリハビリテーションに関する内容を終さます。 本稿機を対していると表で、単しているたで医療との連携を向上などの対していると表で、対していると表で、対していると表で、対しないます。 本稿機能を対していると表では、対していると表では、関係を含む、関係		
と、近年の市町村介護予師事業に対応した研修体系のあり方等について、令和2年度に検討している空です。 必要に応じ部会を設けることができるとありますが、部会が設置されたことはあるのでしょうか? 現場での課題の避販や現場が希望するシステム等について関き取りをする構造します。 を検討していただきない。 が違うか? 協議会とは別に検討部会が設置されたことがあります。 御意見については今後の協議会運営の参考とさせていただきます。 会社ありますか? 協議会との専門職派宣に、資料衛生士などオーラルフレイルに関する関係者の派遣 が独立とができるとよいと思います。 地域ケア会議への専門職派宣に、資料衛生士などオーラルフレイルに関する関係者の派遣 を検討していただきたい。 不護予防の研修にもオーラルフレイル等口腔リハビリテーションに関する研修を入れていただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 一般原には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 一般原には歯科性療を実施している在を歯科医療連携拠点では、地域における在を歯科医療連携拠点では、地域における在を歯科医療連携機点では、地域における在を歯科医療連携機点では、地域における在を歯科医療連携を変しているため、研修学は集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ会議や電力機能の対しているため、研修等は集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ会議や電子媒体によるものに変更してはどうか。 新型コロナめ及拡大のため、研修等は集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ会議をで加速が地域包括ケアシステムの変化に資するよう、各職種で関係があることとしており、第一型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた集の基本方針においてもイベント、会議・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた集の基本方針においてもイベント、会議・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた集の基本方針においてもイベントと、会験では同様と変がしております。のが最近対なと表の表が多く発音が、のでないます。 ので、大材育成とから、大材では、まつまが、大材では、まつまが、大材では、まつまが、大材を関するといます。 ので、大材では、まつまが、大材では、まつまが、大材では、まつまが、大材では、まつまが、大材では、まつまが、大材では、まつまが、大材では、大材を使じて、対しまいます。 ので、大材では、大材では、大材では、大材では、大材では、大材では、大材では、大材で		
おることを希望します。 必要に応じ部会を設けることができるとありますが、部会が設置されたことはあるのでしょうか? 現場での理想の融取や場場が希望するシステム等について開き取りをする機会にありますか? 協議会は多職種が集まる機会なので、地域が抱える課題に具体的に取り組むことができるとよりと思います。 地域ケア会議への専門職派造に、歯科衛生士などオーラルフレイルに関する関係者の派置を検討していただきたい。 地域ケア会議への専門職派造に、歯科衛生士などオーラルフレイルに関する関係者の派置を検討していただきたい。 地域ケア会議への専門職派造に、歯科衛生士などオーラルフレイルに関する関係者の派置を検討していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 か選型コロナ感染拡大のため、研修等は集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ会議を関している在発情科連携、多職種連携等を推進するための研修を情報提供等を実施しております。 一個人は大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大		
必要に応じ部会を設けることができるとありますが、部会が設置されたことはあるのでしょうか? 現場での課題の職政や限場が希望するシステム等について目き取りをする権会はありますが? 協議会は多職権が集まる機会なので、地域が抱える課題に具体的に取り起むことができるとよいと思います。 地域ケア会議での、オーラルフレイル子助の助言は重要ですので、専門職派遣事業で今後を検討していただきたい。 地域ケア会議での、オーラルフレイル子助の助言は重要ですので、専門職派遣事業で今後を検討していただきたい。 地域には清科医療連携率が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には清科医療連携率が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には清科医療連携率が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には清科医療連携率が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には清科医療連携率が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には清科医療連携率が25箇所設置されているため活用していただきたい。 場が見香料を原産を検討している在宅衛科医療連携機にでは、地域における存在でいます。 今後手機では集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ会議や電子媒体によるものに変更してはどうか。 「おります。この拠点が地域包括ケアシステムの深化に資するよう、各職種の皆様の御協力をお願いたします。 介護予防従事者に対するリハビリテーションの内容に関する研修は重要と考えられる。 「会も、作りを発や書面開権に切替えることとしており、御意見を贈いまた。」 「会を取り入れていきます。 今後も介護予防に高さる財産を持計して思りりたいと思いまからいては、開催する内容を持直し、開催方法を検討してまいりたいと関する内容を取り入れていきます。 今後も介護予防にある大り、対域は「生りなどの」、地域コミュニティの再生・活体と参加の意識づけが必要。 「から、対域は「生り、政権の整った対域と体の一般と参加の意識づけが必要。 「企業を持ている」、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、		
しょうか? 現場での課題の聴取や現場が希望するシステム等について聞き取りをする機 ます。 御意見については今後の協議会運営の参考とさせていただきます。 会社的りますか? 協議会は容職値が集まる機会なので、地域が抱える課題に具体的に取 地域ケア会議での専門職派遣に、歯科衛生士などオーラルフレイルに関する関係者の派遣 と検討していただきたい。		
会はありますか? 協議会は多職種が集まる機会なので、地域が抱える課題に具体的に取り組立とができるとよいと思います。 地域ケア会議への専門職派遣に、歯科衛生土などオーラルフレイルに関する関係者の派遣 を検討していただきたい。 が護予防の所修にもオーラルフレイル等口腔リハビリテーションに関する研修を入れてい ただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 新型コロナ感染拡大のため、研修等は集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ会議や電子操作によるものに変更してはどうか。 新型コロナ感染拡大のため、研修等は集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ会議や電子開催に関告えることとしており、御意見を踏まえ、研修等は原則テレビ会議や書・面開権に関告えることとしており、御意見を踏まえ、研修等は原則テレビ会議や書・面開権に関告えることとしており、御意見を踏まえ、研修等は原則テレビ会議や書・面開権に関告えることとしており、御意見を踏まえ、研修等は原則テレビ会議や書・面開権に関告えることとしており、御意見を踏まえ、研修等は原則テレビ会議や書・面開権に関告えることとしており、御意見を踏まえ、研修等は原いテレビ会議や書・面開権に関告えることとしており、御意見を踏まえ、研修等は関いアシステムの概念から支援者を検討してまいりについては、開催するが表を検討して、関性方の方と検討して、関生の方と、対域はより地域リハビリテーションが推進されるよう、今後も事業を展開してまいります。 つ後も介護では、理動器の機能向上などのリハビリテーションに関する内容を取り入れていきます。 今後も介護・取動器の機能向上などのリハビリテーションに関する内容を取り入れていきます。 今後も介護・取動器の機能向上などのリハビリテーションに関する内容が取ります。 では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中		
り組址ことができるとよいと思います。 地域ケア会議への専門職派遣に、歯科衛生士などオーラルフレイルに関する関係者の派遣 を検討していただきたい。 介護予防の研修にもオーラルフレイル等口腔リハビリテーションに関する研修を入れていただきたい。 介護予防でする研修をにもオーラルフレイル等口腔リハビリテーションに関する研修を入れていただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 お型コロナの工作を関するようなの理解を実施しております。この拠点が地域包括ケアシステムの深化に資するよう、各職種の皆様の御協力をお願いいたします。 のできるより入れていきまっ。 分護予防従事者に対するリハビリテーションの内容に関する研修は重要と考えられる。 のできるより入れていきます。 のできるよう人れているます。 のできるようなようないでは、ためには県民全体の理解と参加の意識づけが重要だと理解しております。 のできるようないでは、 になる技術を関するようないでは、 のでするようないでは、 のでするようないでは、 できるようないでは、 のでするようないでは、 のでは、 のでするようないでは、 のでするようないでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 の		ます。御意見については今後の協議会運営の参考とさせていただきます。
地域ケア会議への専門職派遣に、歯科衛生士などオーラルフレイルに関する関係者の派遣を検討していただきたい。 を検討していただきたい。 が護予防の研修にもオーラルフレイル等口腔リハビリテーションに関する研修を入れていただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 場が異コロナ感染拡大のため、研修等は集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ会議や電子媒体によるものに変更してはどうか。 新型コロナ感染拡大のため、研修等は集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ会議や電子媒体によるものに変更してはどうか。 新型コロナのではなら、デレビ会議や電子関係は関サることとしておりまります。この拠点が地域包括ケアシステムの深化に資するよう、各職種の皆様の御協力をお渡しいたします。 ・ 大護予防従事者に対するリハビリテーションの内容に関する研修は重要と考えられる。 ・ 不護予防従事者に対するリハビリテーションの内容に関する研修は重要と考えられる。 ・ 不能予防従事者に対するリハビリテーションの内容に関することが主体と理解しました。 ・ 包括ケアシステムの概念から支援者と支援される側以外に その地域に住む県民の参加が別から、力が変すが、高次脳機能障害に関することが主体と理解しました。 ・ 包括ケアシステムの概念から支援者と支援される側以外に その地域に住む県民の参加が別が表す。 ・ 会後も介護予防従事者研修等で、運動器の機能向上などのリハビリテーションに関する内容を取り入れていきます。 ・ 会後も介護予防従事者研修等で、運動器の機能向上などのリハビリテーションに関する内容を取り入れていきます。 ・ 会後も介護予防従事者研修等で、運動器の機能向上などのリハビリテーションに関する内容を取り入れていきます。 ・ 会後も介護予防従事者研修等で、運動器の機能向上などのリハビリテーションに関する内容を取り入れていきます。 ・ 会後も介護予防従事者研修等で、運動器の機能向上などのリハビリテーションに関する内容を取り入れていきます。 でいては、関権するの連携を図り、地域コミュニティの再生・活体化を推進しながら、在空医療・介護連携推進事業等を推進してよいります。 神奈川県では全性進しております。神奈川県では在空医療従事者の人材育成のため、神奈川県医師会が設置、運営する在宅医療・トレーニングセンク・に対して補助を行い、 は化を推進しながら、在空医療・介護連携推進事業等を推進してまいります。 神奈川県医師会が設置、運営する在宅医療・トレーニングセンク・に対して補助を行い、 衛権を対象に幅広い研修事業を実施しております。 御倉見につきましては今後の研修会開催の参考にさせていただきます。		
・維酸していただきたい。		
介護予防で郵修にもオーラルフレイル等口腔リハビリテーションに関する研修を入れていただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 場が関連対しています。 新型コロナ感染拡大のため、研修等は集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ会議や電子媒体によるものに変更してはどうか。 新型コロナ感染拡大のため、研修等は集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ会議や電子媒体によるものに変更してはどうか。 「一般では原則テレビ会議や書面開催に切替えることとしており、倒意見を踏まえ、研修等に原則テレビ会議や書面開催に切替えることとしており、倒意見を踏まえ、研修等にのいては、開催する内容等を精査し、開催方法を検討してまいりたいと思います。 「会しいでは、開催する内容等を精査し、開催方法を検討してまいりたいと思います。」 「会し、分後方護子防、高次脳機能障害に関することが主体と理解しました。」 「会し、人材育成と介護予防、高次脳機能障害に関することが主体と理解しました。」 「会した、とは、アシステムの概念から支援者と支援される側以外に、その地域に住む県民の参加があって、初めて地域全体の一体的ケアシステムの完成となる。そのためには県民全体の理解と参加の意識がしか必要。 「会しても地域包括ケアシステムを構築していくためには県民全体の理解と参加の意識がしか必要。」 「対す重要だと理解しております。市町村等との連携を回り、地域コミュニティの再生・活性化を推進しながら、在宅医療・介護連携推進事業等を推進してまいります。 「神奈川県では在宅医療企業者の人材育成のため、神奈川県医師会が設置、運営する在宅医療トレーニングセンターに対して補助を行い、多職種を参加の場かに配はい研修事業を実施しております。御意見につきましては今後の研修会開催の参考にさせていただきます。 「今後も、住民主体の通いの場への専門職派遣な「モデル事業で得られた成果については、市町村職員研修会等を通じて横展関してまいりま		
ただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 場が県歯科医師会に委託して設置している在宅歯科医療連携拠点では、地域における在宅歯科医療連携拠点では、地域における在宅歯科医療連携変が25箇所設置されているため活用していただきたい。 場が、場が、いたします。 新型コロナ感染拡大のため、研修等は集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ会議や電力サイルス感染症の拡大防止に向けた県の基本方針においてもイベント、会議・研修等は原則テレビ会議や書面開催に切替えることとしており、御意見を踏まえ、研修等に加いたは、開催する内容等を精査し、開催力法を検討してまいりたいと思います。 介護予防従事者に対するリハビリテーションの内容に関する研修は重要と考えられる。 一個をおいたでは、関係する内容等を精査し、開催力法を検討してまいりたいと思います。 会後も介護予防、高次膨機能障害に関することが主体と理解しました。 「会も介護予防、高次膨機能障害に関することが主体と理解しました。」 「会社がアシステムの概念から支援者と支援される側以外に一その地域に住む県民の参加が、果としても地域包括ケアシステムを構築していくためには県民全体の理解と参加の意識づかが必要。 「会社がアシステムの概念から支援者と支援される側以外に一その地域に住む県民の参加が、果としても地域包括ケアシステムを構築していくためには県民全体の理解と参加の意識であって、初めて地域全体の一体的ケアシステムの完成となる。そのためには県民全体の理解と参加の意識ではが重要だと理解しております。市町村等との連携等図は、地域コミュニティの再生・活性、企業が関係を関係と参加の意識では、在宅にあり、在宅にあ間して行うリハビリテーションの研修を行って、関値見いただきありがとうでいます。神奈川県では在宅医療従事者の人材育成のため、神奈川県医師会が設置、運営する在宅医療トレーニングセンターに対して補助を行い、多職権を対象に幅広い研修事業を実施しております。御意見につきましては今後の研修会開催の参考にさせていただきます。		
地域には歯科医療連携室が25箇所設置されているため活用していただきたい。 県が県歯科医療全長とと表験して設置している在宅歯科医療連携拠点では、地域における在宅 歯科医療や医科歯科連携、多職種連携等を推進するための研修や情報提供等を実施しております。この拠点が地域包括ケアシステムの深化に資するよう、各職種の皆様の御協力を治願いいたします。 新型コロナ感染拡大のため、研修等は集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ会議や電子媒体によるものに変更してはどうか。 が護や電子媒体によるものに変更してはどうか。 か護予防従事者に対するリハビリテーションの内容に関する研修は重要と考えられる。 一分後も介護予防で事者に対するリハビリテーションの内容に関する研修は重要と考えられる。 一分後も介護予防で事者が修等で、運動器の機能向上などのリハビリテーションに関する内容を取り入れていきます。 一分後も介護予防で事者が修等で、運動器の機能向上などのリハビリテーションに関する内容を取り入れていきます。 一分後も介護予防で事者が修等で、運動器の機能向上などのリハビリテーションに関する内容を取り入れていきます。 一分後も介護予防で事者が修等で、運動器の機能向上などのリハビリテーションに関する内容を取り入れていきます。 一分後も介護予防で事者が修等で、運動器の機能向上などのリハビリテーションに関する内容を取り入れていきます。 一分後も介護予防で事者が修等で、運動器の機能向上などのリハビリテーションに関する内容を取り入れていきます。 一分後も介護予防であるの機能向上などのリハビリテーションに関する内容を取り入れていきます。 一分後も介護予防であるの機能向上などのリハビリテーションの所能がある。 「おおいなど、企業を関しております。市町村等との連携をと図り、地域コミュニティの再生・活性となが必要。 「かに推進しながら、在宅医療・介護連携を連携をを推進してよります。 「神奈川県下のは、在宅医療・ク護・推進・ま学を推進してよります。」 「おおいなど、企業を推進しております。)「神奈川県では在宅医療は事者の人材育成のため、神奈川県医師会が設置、運営する在宅医療トレーニングセンターに対して補助を行い、多職種を対象に幅広い研修事業を実施しております。 御意見につきましては今後の研修会開催の参考にさせていただきます。 「キデル事業で得られた成果については、市町村職員研修会等を通じて横展開してまいりま		
歯科医療や医科歯科連携、多職種連携等を推進するための研修や情報提供等を実施しております。この拠点が地域包括ケアシステムの深化に資するよう、各職種の皆様の御協力をお願いたします。 新型コロナ感染拡大のため、研修等は集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ会 議や電子媒体によるものに変更してはどうか。 「護予防従事者に対するリハビリテーションの内容に関する研修は重要と考えられる。 一次護予防従事者に対するリハビリテーションの内容に関する研修は重要と考えられる。 一次でいては、開催する内容等を精査し、開催方法を検討してまいりたいと思います。 一次を取り入れていきます。 「会も介護予防、高次脳機能障害に関することが主体と理解しました。 「包括ケアシステムの概念から支援者と支援される側以外に その地域に住む県民の参加が 泉って 初めて地域全体の一体的ケアシステムの完成となる。そのためには県民全体の理解と参加の意識づけが必要。 「介護支援専門員として思うのは、在宅に訪問して行うリハビリテーションの研修を行ってほしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリの充実が取り組みに入ってほしい。 設備の整った病院や施設以外で行うリハビリの充実が取り組みに入ってほしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリの充実が取り組みに入ってほしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリの充実が取り組みに入ってほしい。 で表取り入れていきます。 「おります。市町村等との連携を図り、地域コミュニティの再生・活性化を推進しながら、在宅医療・介護連携推進事業等を推進してまいります。 「神奈川県医師会が設置、運営する在宅医療・レーニングセンターに対して補助を行い、多職種を対象に幅広い研修事業を実施しております。御意見につきましては今後の研修会開催の参考にさせていただきます。 「モデル事業で得られた成果については、市町村職員研修会等を通じて横展開してまいります。		14 7 0
新型コロナ感染拡大のため、研修等は集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ会 議や電子媒体によるものに変更してはどうか。	地域には歯科医療連携室か25箇所設置されているため活用していたたきたい。	
新型コロナ感染拡大のため、研修等は集団で密室内に集まって行うのではなく、テレビ会議や電子媒体によるものに変更してはどうか。 お願いいたします。 新型コロナの発症というでは、対け、これでは、対している。 新型コロナの発症が、関係では、よるものに変更してはどうか。 か護予防従事者に対するリハビリテーションの内容に関する研修は重要と考えられる。 の後も介護予防従事者研修等で、運動器の機能向上などのリハビリテーションに関する内容を取り入れていきます。 今後も介護予防従事者研修等で、運動器の機能向上などのリハビリテーションに関する内容を取り入れていきます。 多職種連携により地域リハビリテーションが推進されるよう、今後も事業を展開してまいります。 を取り入れていきます。 多職種連携により地域リハビリテーションが推進されるよう、今後も事業を展開してまいります。 があってがあて地域全体の一体的ケアシステムの完成となる。そのためには県民全体の理解と参加の意識づけが必要。 か護支援専門員として思うのは、在宅に訪問して行うリハビリテーションの研修を行ってはしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリテーションの研修を行ってはしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリテーションの研修を行っては、対しております。神奈川県では在宅医療従事者の人材育成のため、神奈川県医師会が設置、運営する在宅医療トレーニングセンターに対して補助を行い、多職権を対象に幅広い研修事業を実施しております。御意見につきましては今後の研修会開催の参考にさせていただきます。 ・モデル事業で得られた成果については、市町村職員研修会等を通じて横展開してまいります。 ・モデル事業で得られた成果については、市町村職員研修会等を通じて横展開してまいりま		
新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた県の基本方針においてもイベント、会議・議や電子媒体によるものに変更してはどうか。 が修等は原則テレビ会議や書面開催に切替えることとしており、御意見を踏まえ、研修等については、開催する内容等を精査し、開催方法を検討してまいりたいと思います。 介護予防従事者に対するリハビリテーションの内容に関する研修は重要と考えられる。 研修・人材育成と介護予防、高次脳機能障害に関することが主体と理解しました。 包括ケアシステムの概念から支援者と支援される側以外に その地域に住む県民の参加があって 初めて地域全体の一体的ケアシステムの完成となる。そのためには県民全体の理解と参加の意識づけが必要。 介護支援専門員として思うのは、在宅に訪問して行うリハビリテーションの研修を行ってほしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリテーションの研修を行い、各議・研修等に、運動器の機能向上などのリハビリテーションに関する内容を取り入れていきます。 多職種連携により地域リハビリテーションが推進されるよう、今後も事業を展開してまいます。 のます。 中族・人材育成と介護予防、高次脳機能障害に関することが主体と理解しました。 を取り入れていきます。 多職種連携により地域リハビリテーションが推進されるよう、今後も事業を展開してまいます。 ります。 中族・人材育なのから支援者と支援される側以外に その地域に住む県民全体の理解と参加の意識づけが重要だと理解しております。市町村等との連携を図り、地域コミュニティの再生・活性化を推進しながら、在宅医療・介護連携推進事業等を推進してまいります。 神奈川県医師会が設置、運営する在宅医療にレーニングは在宅医療従事者の人材育成のため、神奈川県医師会が設置、運営する在宅医療・レーニングは一に対して補助を行い、多職種を対象に幅広い研修事業を実施しております。 御意見につきましては今後の研修会開催の参考にさせていただきます。		
議や電子媒体によるものに変更してはどうか。	新刊コロナ成準は大のため 一種修築は集団で密案内に集まって行るのではなく テレビ会	
たのいては、開催する内容等を精査し、開催方法を検討してまいりたいと思います。 介護予防従事者に対するリハビリテーションの内容に関する研修は重要と考えられる。 研修・人材育成と介護予防、高次脳機能障害に関することが主体と理解しました。 の担抗を取り入れていきます。 日括ケアシステムの概念から支援者と支援される側以外に その地域に住む県民の参加が		
介護予防従事者に対するリハビリテーションの内容に関する研修は重要と考えられる。 研修・人材育成と介護予防、高次脳機能障害に関することが主体と理解しました。 包括ケアシステムの概念から支援者と支援される側以外に その地域に住む県民の参加が	成で电丁殊件によるものに変更してはこうか。	
一をを取り入れていきます。 一を取り入れていきます。 一を取り、地域リハビリテーションが推進されるよう、今後も事業を展開してまいります。 一を取り、地域コミュニティの再生・活性にを推進しながら、在宅医療・介護連携推進事業等を推進してまいります。 一を変え援専門員として思うのは、在宅に訪問して行うリハビリテーションの研修を行ってはいる。 「はしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリの充実が取り組みに入ってほしい。 はしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリの充実が取り組みに入ってほしい。 「はしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリの充実が取り組みに入ってほしい。 「はしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリの充実が取り組みに入ってほしい。 「はしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリの充実が取り組みに入ってほしい。 「はしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリの充実が取り組みに入ってほしい。 「はたれば、大きないがとうございます。神奈川県では在宅医療従事者の人材育成のため、神奈川県医師会が設置、運営する在宅医療トレーニングセンターに対して補助を行い、多職種を対象に幅広い研修事業を実施しております。 「はたれば、大きない研修を開発しております。 「はたれば、大きないが、大きない研修を表しております。 「はたれば、大きない研修を表しております。 「はたれば、大きないでは、大きない研修を表しては、大きない研修を表しては、大きない研修を表しては、大きない研修を表しては、大きない研修を表しては、大きない研修を表しては、大きない研修を表しては、大きない研修を表しては、大きないの研修を開催の参考にさせていただきます。 「はたれば、大きないのでは、いるないのでは、大きないのでは、いるないのでは、いるないのでは、いるないのでは、いるないのでは、いるないのでは、いるないのでは、いるないのでは、いるないのでは、いるないのでは、		_ , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
研修・人材育成と介護予防、高次脳機能障害に関することが主体と理解しました。	介護予防従事者に対するリハビリテーションの内容に関する研修は重要と考えられる。	1
②括ケアシステムの概念から支援者と支援される側以外に その地域に住む県民の参加が		
包括ケアシステムの概念から支援者と支援される側以外に その地域に住む県民の参加があって 初めて地域全体の一体的ケアシステムの完成となる。そのためには県民全体の理解と参加の意識づけが必要。 解と参加の意識づけが必要。 介護支援専門員として思うのは、在宅に訪問して行うリハビリテーションの研修を行ってほしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリの充実が取り組みに入ってほしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリの充実が取り組みに入ってほしい。 確を対象に幅広い研修事業を実施しております。御意見につきましては今後の研修会開催の参考にさせていただきます。		
あって 初めて地域全体の一体的ケアシステムの完成となる。そのためには県民全体の理 けが重要だと理解しております。市町村等との連携を図り、地域コミュニティの再生・活解と参加の意識づけが必要。 性化を推進しながら、在宅医療・介護連携推進事業等を推進してまいります。 性化を推進しながら、在宅医療・介護連携推進事業等を推進してまいります。 ででいる。 はしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリの充実が取り組みに入ってほしい。 はしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリの充実が取り組みに入ってほしい。 でおります。神奈川県医師会が設置、運営する在宅医療トレーニングセンターに対して補助を行い、多職種を対象に幅広い研修事業を実施しております。 御意見につきましては今後の研修会開催の参考にさせていただきます。	Life Same and the A.S. Life Id. S. Life (S. Sambalas II.)	7 - 7 3
解と参加の意識づけが必要。		
介護支援専門員として思うのは、在宅に訪問して行うリハビリテーションの研修を行ってはい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリの充実が取り組みに入ってほしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリの充実が取り組みに入ってほしい。 神奈川県医師会が設置、運営する在宅医療トレーニングセンターに対して補助を行い、多職種を対象に幅広い研修事業を実施しております。 御意見につきましては今後の研修会開催の参考にさせていただきます。 今後も、住民主体の通いの場への専門職派遣モデル事業や地域ケア会議への専門職派遣な モデル事業で得られた成果については、市町村職員研修会等を通じて横展開してまいりま		
ほしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリの充実が取り組みに入ってほしい。 神奈川県医師会が設置、運営する在宅医療トレーニングセンターに対して補助を行い、多職種を対象に幅広い研修事業を実施しております。御意見につきましては今後の研修会開催の参考にさせていただきます。 令後も、住民主体の通いの場への専門職派遣モデル事業や地域ケア会議への専門職派遣な モデル事業で得られた成果については、市町村職員研修会等を通じて横展開してまいりま		
職種を対象に幅広い研修事業を実施しております。御意見につきましては今後の研修会開催の参考にさせていただきます。 今後も、住民主体の通いの場への専門職派遣モデル事業や地域ケア会議への専門職派遣なモデル事業で得られた成果については、市町村職員研修会等を通じて横展開してまいりま		
催の参考にさせていただきます。 今後も、住民主体の通いの場への専門職派遣モデル事業や地域ケア会議への専門職派遣な モデル事業で得られた成果については、市町村職員研修会等を通じて横展開してまいりま	ほしい。設備の整った病院や施設以外で行うリハビリの充実が取り組みに入ってほしい。	
今後も、住民主体の通いの場への専門職派遣モデル事業や地域ケア会議への専門職派遣な モデル事業で得られた成果については、市町村職員研修会等を通じて横展開してまいりま		
		催の参考にさせていただきます。
	今後も、住民主体の通いの場への専門職派遣モデル事業や地域ケア会議への専門職派遣な	モデル事業で得られた成果については、市町村職員研修会等を通じて横展開してまいりま
		す。

1 報告 (2)神奈川県リハビリテーション支援センター事業の実施状況について

意見の概要	県の考え方
	令和元年度は計2回研修会を開催しました。小田原養護学校でiPadの活用術というテーマで開催し、参加人数は59名、横須賀市立養護学校でWindowsパソコン活用術というテーマで開催し、参加人数は56名でした。
直しが必要と考える。また、実績が1回あるいは2回のものが多く、重点すべき事項や事業	地域リハビリテーション体制構築事業は県民が地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで 続けられるようにするため、各個人の状態に応じて、適切なリハビリテーションが提供さ れるよう、地域リハビリテーションの連携体制の整備を図ることを目標に行っておりま す。今後とも神奈川県の現状に合わせた施策を打てるよう検討してまいります。
	平成24年度より横浜市総合リハビリテーションセンター、川崎市北部リハビリテーションセンター、れいんぼう川崎、川崎市中部リハビリテーションセンター、相模原市更生相談所と情報交換等を目的に連絡会を開催しております。令和元年度は「地域リハビリテーションの目指すところ」というテーマで現状と課題についてディスカッションをしました。
小児在宅医療の中に口腔ケアを必要とされている方々がおられると思います。各二次医療機関(障害者歯科診療所)と連携していただきたい。 県下二次医療機関リスト https://www.dent-kng.or.jp/iryou/shougai/	在宅医療を受けている小児を含め、口腔ケアを必要とされている方が、多職種連携のもと で適切なケアが受けられるよう、関係職種の皆様の御協力をお願いいたします。
	研修等は原則テレビ会議や書面開催に切替えることとしており、御意見を踏まえ、研修等 については、開催する内容等を精査し、開催方法を検討してまいりたいと思います。
よって、利用者の体調管理をしっかり把握し、回数を減らすのは仕方なしとするも、継続	御指摘いただきましたとおり、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、リハビリテーションを継続することは必要と認識しております。感染拡大の防止と地域リハの推進の両立について、御意見を伺いながら検討してまいります。
	地域のリハ従事者が、支援を必要とする住民に対して、困難事例も含め円滑かつ適切な支援を行うことができるよう、県として、県総合リハビリテーション事業団を通じ、専門相談等の事業に取り組んでまいります。
	効果検証等を目的として、県が委託事業で行う研修につきましては、研修ごとに受講者に アンケートを提出していただいております。満足度の他にも今後の研修会開催の参考にす るために受講したいこと等御意見をいただいております。いただいたご意見を踏まえ、リ ハケアフォーラムのテーマや研修会内容・研修場所の選定等に活かしてまいります。
住民と支援事業所をはじめとする支援者、行政が一体となってそれぞれの地域社会の課題解決に取り組む必要があり、支援センターはその調整役機能を付加しても良いのではないか。保健所と支援団体の調整機能を担っても良いのではないかと思います。	
前向きな研修を、専門職の方が受けられる職場環境になるような背景、バックアップが必要。研修先が遠くて、バスの便も悪く、行きにくいといつも感じています。	御意見いただきありがとうございます。県が委託事業で行う研修につきましては、毎年度 ニーズを踏まえて地域を選定し、地域のリハ関係機関が、相談機関・コーディネーターと して支援を行うことができるよう、リハ従事者向けの研修を開催しております。御意見に つきましては今後の参考とさせていただきます。
令和元年によこすかで開催の「支援教育に役立つパソコンの工夫や使用方法」についての 事業は大変興味をもちました。こうした学習会がもっと多くの会場、幅広い方たちを対象 に開催されることをお願いいたします。	
今後も、リハビリテーションに係る普及啓発活動や、支援者向け専門研修について、ご対 応いただきたい。	今後とも、より多くの方に必要なリハビリテーションを受けていただけることを目指して、普及啓発に努めるとともに、効果的な研修の開催を推進してまいります。

2 意見照会 (1)ア 地域リハビリテーションの普及啓発について

意見の概要	県の考え方
本指針を県内の各団体、保険者等がどの程度利用しているのか不明ですが、関係機関に広く提示し、すべての関係機関が同じ方向を向けるようにしていただきたい。 本会会員への周知等、ご依頼いただければ可能です。	より多くの方に連携指針を知っていただけるよう県ホームページへの掲載、県民が集まるリハビリテーション・ケアフォーラム、リハ従事者向けの研修会等での周知等、機会を捉えて努めてまいります。各関係団体の方々の御協力もいただきながら進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
指針に基づいた方針を示す際は、神奈川県の現状に合わせた具体的な内容での提示をお願いしたい。	御意見を参考として、指針に位置付けられた基本的な考え方や取組みの方向性を踏まえ、 神奈川の現状に即した具体的な施策の実施に努めてまいります。
「神奈川県リハビリテーション支援センター」については、多くの行政や本会会員にもその役割は見えにくく、存在の認識向上が必要と考えます。 (神奈川県リハビリテーション連携推進指針に位置付けられた) ①~⑤の機能については、積極的な取り組みを要望。	
神奈川県と神奈川県歯科医師会はオーラルフレイルと健康寿命延伸の取り組みを推進しているが、口腔のリハビリテーションに直結する内容であることから重要であると考えます。しかし、地域リハビリテーションの指針には全く記載がありません。	御意見については、今後指針を見直す際の参考とさせていただきます。
病院の立場から、地域包括支援センターの活動が地区によりかなり差があるように思える し、病院から活動内容が見えにくい。退院後の生活を支援するためにもセンター間の情報 交換や、病院との連携強化が必要ではないか。	
リハビリテーションは市町村で地域差があるので、県として地域差について把握していくことが必要。	県保健福祉事務所において、関係機関、市町村等が実施するリハビリの情報を把握し、これらの活動を支援するなどにより、地域の実情を踏まえた取組を推進してまいります。
地域リハビリテーションの対象となる県民が適切なリハビリテーションを受けられるように、各リハビリテーション関係者が連携できる体制作りが重要と考えられる。	適切なリハビリテーションを提供するためにもリハビリテーション関係者の連携が重要であると受けとめております。御意見については今後の事業の展開の参考にさせていただきます。
各地域の実情に応じた地域リハビリテーションの体制を構築する必要があると考えます。 実情とは何かを考えることも大切で、各地域の求めるものは何かということを改めて明確 にすることも必要ではないでしょうか。	ご指摘のとおり、適切なリハビリテーションを提供するうえでも各地域の実情に応じた地域リハビリテーションの体制を構築することが重要です。各地域の実状に合わせたサービスが提供できるよう取り組んでまいりますので、今後とも意見、情報提供等いただければ幸いです。
地域リハビリテーションについて、一般の方々にシンプルに理解していただけるよう説明 する難しさを感じています。	地域リハビリテーションとは連携指針でも示されているように子供や成人・高齢者とその家族が、可能な限り住み慣れた地域で、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活に関わるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行う活動のすべてを言います。指針には基本的な考え方から各関係機関・職種の機能と役割が明示されていますので確認いただければと思います。今後とも広く知っていただけるよう周知に努めてまいります。
リハビリ支援センターとしては 各地域での地域リハ推進のためには地域診断をしている 保健所の関与が重要と考え、保健所との連携を模索できるような会議への参加が望ましい。	神奈川県では在宅医療の体制構築と推進を図るため、保健福祉事務所単位で、地域包括ケア会議を開催し、在宅医療に係る課題と医療と介護の連携体制の構築に係る情報共有・課題抽出を行っております。会議には行政、各地域のリハ関係職種も参加しており、連携を進めているところです。今後とも地域リハビリテーション推進に向け、課題の共有・検討に努めてまいります。
地域では、リハ職が行政や多職種連携の委員会等に出てくることがほぼない状況です。 まずは地域に出てくる体制を、職能団体として作ることが必要かと思います。 地域差があるなら地域差を無くす、地域の情報を共有する体制が必要。職場の線を越えた 活動参加が地域で必要です。	適切なリハビリテーションを提供するためにも多職種の連携が重要と感じております。御 意見については今後の展開を検討する際の参考にさせていただきます。
リハ関連職がどこにいて、何ができるのか、またどのように利用できるのかを各地域で可 視化できるシステムの構築が必要と感じます。	御意見については今後の施策の展開の参考とさせていただきます。
症者向け意思疎通支援事業」が平成30年度より始まっております。事業の継続性や拡大の 観点から、事業の広報やニーズ調査も含め、県民・各種専門職・支援センター・行政等が 更に連携する必要があるものと考えます。	
広報の大切さを感じます。広報の仕方に工夫をし、いろいろな角度から参加できるように お願いいたします。	今後ともより多くの方への周知につながるようHPへの掲載、関係団体・機関への案内に努めてまいります。

2 意見照会 (1) イ 連携の活性化について

意見の概要	県の考え方
活動報告等具体性に欠けており、効果判定が見えにくい状況であり、また現状、現場にあったニーズに対応できているか疑問が残るところです。連携の活性化については、現場の課題にあった対応とその効果を示していくことが必要であると考えます。	御意見をいただきありがとうございます。各地域の実情に応じたリハビリテーションが効
修等の学びの場、その後の実践の場の提供と一連の流れを作ることが必要であると思います。	きます。
いろいろな活動への参加についても、相応の報酬がなければ、働き方改革が進む中人材確保は難しいと考えます。	働き方改革を進めるうえではリハ関係職種の連携が必須になってくると思います。そのため、関係職種の方々が働きやすい環境を整備するためにも今後とも情報提供、御意見等をいただき、行政としてできることを検討していきたいと思います。
指針の15ページにかかりつけ歯科医の役割の記載があるものの、口腔リハビリテーション に関与する歯科衛生士に関する記述がないので、検討していただきたい。	御意見については、今後指針を見直す際の参考とさせていただきます。
働き方改革を鑑みても、タスクシェア、タスクシフトは必要である。理学療法士以外でもできる仕事があればやってもらう。	働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進については様々な関係職種の 方々に御意見をいただき、行政としてできることをこれから検討していきたいと思いま す。御意見については今後の参考にさせていただきます。
SNS等を利用した多職種間の情報共有システムの構築が有効と思われる。	県では、患者の同意を得た上で、病院、診療所(医科・歯科)、薬局、訪問看護事業者、 訪問介護事業者等の機関間において、当該患者の医療情報を共有する地域医療介護連携 ネットワークの構築を目指し、令和元年8月に、地域でネットワークを構築する際のガイ ドラインを策定いたしました。今後、このガイドラインを踏まえたネットワークの構築を 推進してまいります。
連携が重要であることはその通りと考えます。しかし、実際はなかなか難しい。	関係者が多岐に及ぶがゆえの難しさがあることは御指摘のとおりですが、そうした困難を 着実に克服して連携が推進できるよう、県としても皆様の御意見を伺いながら施策の推進 等に取り組んでまいります。
県内の各地域の多職種連携はかなり進んでおり 介護部門とリハビリ部分の連携も連絡会など活発化している。地域の課題を整理する上で市町村などの行政の参加も促進されている。保健圏域から見た保健所の参加も今後課題解決には必要となってくると思う。	神奈川県では在宅医療の体制構築と推進を図るため、保健福祉事務所単位で、地域包括ケア会議を開催し、在宅医療に係る課題と医療と介護の連携体制の構築に係る情報共有・課題抽出を行い、その対応策を検討するほか、協議会を通して多職種連携の推進を行っております。各地域での会議には神奈川県リハビリテーション三団体協議会をはじめとするリハ関係職種の方々にも参加していただき、連携を進めております。
2019年11月8日の第2回医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会とPT, OT, STのヒアリング資料を読みました。他国の取り組みも参考に慎重に行うことが必要で、簡単に働き方改革と言い切る問題ではないと感じました。ケアマネジャーとして、重度の方や継続的リハビリが必要な状況で在宅に戻られる方が増えています。専門的な視点から、退院前カンファレンスにも訪問看護ステーションのリハビリ職に参加をお願いしますが、リハ職ではなく看護師や相談員が来ることがあり、専門職が病院のリハビリ職と引継ぎが出来ること、また、退院後もやり取りが行えることの共有が必要かと思います。	が、今後の施策の展開にあたり、頂いた御意見を参考にさせていただきます。
リハ関連職は病診・在宅療養・福祉教育と活動の場が多岐にわたります。多職種連携については地域によりばらつきがあると感じます。 現職に負荷のかからない利便性の良い情報共有ツールがあれば連携しやすいと思います。	県では、患者の同意を得た上で、病院、診療所(医科・歯科)、薬局、訪問看護事業者、 訪問介護事業者等の機関間において、当該患者の医療情報を共有する地域医療介護連携 ネットワークの構築を目指し、令和元年8月に、地域でネットワークを構築する際のガイ ドラインを策定いたしました。今後、このガイドラインを踏まえたネットワークの構築を 推進してまいります。
職にやってもらえるのはどこまでなのかなど広報をお願いします。(チラシ、ポスター、HPなど)	御意見をいただきありがとうございます。リハ専門職の役割等県民へ見えるようにすることは大切だと思います。神奈川県地域リハビリテーション連携指針は地域リハビリテーションの充実を図るために、関係する機関等の役割を明確にし、連携を強化するために作成したものです。指針を多くの方へ知っていただけるよう周知に努めてまいります。
	神奈川県では在宅医療従事者の人材育成のため、神奈川県医師会が設置、運営する在宅医療トレーニングセンターに対して補助を行い、多職種を対象に幅広い研修事業を実施しております。研修会は基礎編・実践編と位置づけ、多職種連携につながる研修会のほかに医療スキルの向上を目指す研修会を体系づけて開催をしております。

2 意見照会 (1)ウ 地域リハビリテーションの体制整備について

意見の概要	県の考え方
神奈川県理学療法士会では、市区町村の要望に瞬時に対応すべく、地域毎に組織の細分化を進めています。神奈川県におかれましては、市区町村の派遣等要望に各職能団体が対応できているかをご確認いただき、フォードバックしていただきたい。	各職能団体が市町村からの派遣要望にどのようにご対応いただいているのかについて情報 収集を行い、結果を本協議会に御報告するとともに、市町村にも情報提供することを検討 いたします。
神奈川県全域での検討も必要と思いますが、実際の活動は各地域の実情に合わせたものとなるため、県の指針を受けて地域ごとの活動が行えるような組織、システムの構築を進めていただきたい。	
リハビリテーションに関わる職員が在籍している病院と地域包括センター、行政がさらに 連携し、リハ職の活躍の場を増加させるべきである。	リハビリテーション職が地域で活躍するためには、専門職が所属する機関の理解が大変重要と考えておりますので、関係する団体も含め連携が活性化するよう取り組んでまいります。
在宅診療をしている患者さんで、リハビリテーションが必要かどうか判断に迷うことがある。理学療法士さんに、判断を仰ぎたい時、是非、協力してもらいたい。	在宅医療においても多職種連携が重要であることから、リハビリテーション職を含む多職 種連携が活性化するよう、県としても施策を推進してまいります。
県が中心となり、リハビリテーション対象者の急性期、回復期、生活期へのスムーズな橋渡しを実施するシステムを整備する。 回復期および生活期に対応できる施設等の地域格差を是正する。	リハビリテーション対象者がいつでもどこでも適切なサービスを受けられる環境を提供するためには関係職種の地域における連携に加え、広域的な連携体制も重要であると認識しておりますので、当協議会の機能等を活用して検討してまいります。
リハビリテーション専門職の必要性は理解します。しかし、本職をもつ人をボランティア 的に働いてもらうのは無理があるでしょう。 地域の人材を育成することが重要と考えますが、その目的にあった研修や育成ができているのかどうかの検討も必要と思います。	リハビリテーション専門職の多くが医療機関に所属していることから、報酬を始め、一定の派遣調整ルールが必要であることは認識しており、本協議会において今後御議論いただけるよう検討してまいります。また、人材育成については重要と受けとめていますので、今後の施策の展開の参考とさせていただきます。
財源や人的資源の効率的合理的活用を進めていかないと 無尽蔵に人的資源があるわけではないので地域特有の課題の解決と人的配分の調整機能が必要。これを行なって地域間格差の解消と地域特有の問題の解決につなげて行くシステムが必要。	人的資源を効率的に活用して効果的に地域リハビリテーションを推進していくことを目指し、派遣調整のしくみづくりなどについて当協議会において今後御議論いただけるよう検討してまいります。
医師会のように地域ごとに活動できる体制。 病院や訪問看護ステーション所属のリハビリ職の方は、自分達の職能団体のことを知らない方や、存在のみ知っている方が多いように思いました。	地域における多職種連携を活性化する施策を展開していく上で、頂いた御意見を参考とさせていただきます。
リハ専門職は大半が医療分野で働いており、所属施設の理解がなければ派遣の実現困難な状況が現実です。自身の休日を使うなど奉仕の精神を前提としたシステムでは継続困難となる実情があるかと思います。現職と派遣の相互の関係が経済的にも回るシステムが必要なのではないかと思われます。	人的資源を効率的に活用して効果的に地域リハビリテーションを推進していくことを目指し、派遣調整のしくみづくりなどについて当協議会において今後御議論いただけるよう検討してまいります。
地域リハへのスタッフ派遣が、リハ診療報酬の施設基準に関与する(加算になる、施設基準が上がる、等)ようにするなど、リハ専門職在籍施設にとってもメリットがある。 (派遣しなければ、デメリットとなる)システム(法調整)が望まれると考えます。	診療報酬や介護報酬におけるインセンティブの付与については国に対して機会を捉えて要望等をしていきます。
リハビリ等専門職の活用による住民活動への支援に向けては、医師会・病院協会などの理解や協力を得て、他県で実施している専門職派遣のための仕組みづくりを行うのはどう	御意見を参考に、他県の事例も参考にして、本協議会において今後御議論いただけるよう 検討してまいります。
か。 専門職を有効活用するために、利用者選定機能が必要かと思います。在宅でのリハビリ場面では本当にリハ職が必要か?と思われるケースが多いです。CMへの指導や訪看NSへの教育活動を取り入れてはいかがでしょうか?	専門職の有効活用については重要と受けとめていますので、今後の施策の展開に当たって の参考とさせていただきます。

2 意見照会 (2)その他

意見の概要	県の考え方
「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」について、県主導で施行される予定はありますか?あるようでしたら、当該市町村を教えてください。	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施については、市町村が実施主体の事業として 既に制度化されており、県主導で試行を行う予定はありません。県としては、国保連や後 期高齢者医療広域連合と連携しながら、市町村を支援していく予定であり、その内容等に ついては介護予防事業の会議等で報告させていただきます。
歯科部分には、二次医療圏には障害者歯科二次診療所もあり。在宅歯科医療連携室も県下に25箇所あります。それらと連携して口腔リハビリテーション、オーラルフレイル予防の普及ができるよう、連携をお願いしたい。	きます。
生活期におけるリハビリテーションの質の向上と充実を図る。	生活期におけるリハビリテーションの質の向上と充実を図るため、派遣調整の仕組みづく りなども含め、今後御議論いただけるよう検討してまいります。
	のと考えておりますので、今後とも情報提供などの御協力のほどよろしくお願いいたしま
調整機能と課題解決機能を進める組織が必要でかつ各保健圏域を見渡す事のできる県リハ 支援センターと保健所の参加及び連携が重要と考えます。	神奈川県では在宅医療の体制構築と推進を図るため、保健福祉事務所単位で、地域包括ケア会議を開催し、在宅医療に係る課題と医療と介護の連携体制の構築に係る情報共有・課題抽出を行っております。会議には行政、各地域のリハ関係職種も参加しており、連携を進めているところです。今後とも地域リハビリテーション推進に向け、課題の共有・検討に努めてまいります。
2号被保険者要介護状態の方から、訪問看護から来るリハビリ職の人のレベルが低い。 経験が無いまま職についているような人が増えている。という声が聞かれます。あんなリ ハビリならいらないという高齢者も居ます。 ケアマネジャーもですが「質」が最大の課題と考えます。	効率的で質の高いサービスが提供されるよう、人材の確保・育成、多職種連携などの施策 を実施しておりますが、御意見を参考に、質の高いサービスにつながるよう取り組んでま いります。
普及啓発活動や多職種連携推進に向けた連絡会の実施、住民や専門職の育成、人材派遣の 仕組み管理などを行う活動支援拠点を、医療圏域ごとに整備することが望ましいのではな いか。	神奈川県では在宅医療の体制構築と推進を図るため、県全域または保健福祉事務所単位で、多職種が集まり協議会の開催をし、在宅医療の推進に係る課題の抽出、好事例の共有に取り組むほか、市町村事業や郡市医師会事業では対応できていない指導的・専門的な人材育成、越境する問題解決に向けた取組み、広域的な普及啓発など、複数市区町村を跨る問題の解決を図っております。
在宅リハの場面では重症者への対応を必要とされています。1人で訪問した時の異常の早期発見、メンタルサポート、吸引などNSの役割も共有できれば良いと思います。	在宅の場面では御指摘のとおり多職種連携が重要であるため、各職種の役割を共有できる よう連携の推進のための施策に御意見を活かしてまいります。
浜村明徳先生が委員長で平成30年度老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業。地域におけるリハビリテーションの活用促進を目指した調査研究が2019年3月に発表されております。その中で都道府県における地域リハの取り組み状況とあり方が検討されています。神奈川県もアンケートに回答されていると思います。今後この会でもこの研究の情報共有と今後の地域リハの在り方の検討をしていただけると嬉しいです。	御意見いただきありがとうございます。ご紹介いただきました調査研究につきましては、 その報告書の趣旨について、本県の協議会等において地域リハビリテーションのあり方の 検討をさせていただく際に、適宜参考とさせていただきます。